

# いま、‘学び’について考える

～ 三人寄れば文殊の知恵（エコノミスト × セラピスト × ティーチャー）～

人生 100 年時代を迎え、従来型の 3 ステージモデル（学ぶ時期 / 会社勤めの時期 / 引退）の見直しが叫ばれています。また AI の普及により、これまで人間が担ってきた労働が次々と奪われる事態も危惧されています。このような激変ともいえる時代に、私たちはどうすればよいのでしょうか？ そのカギを解くキーワードとして「学び直し」を選びました。今回は学びを次の三つの切り口で 3 人の講師に語っていただきます。

講師

【ディープラーニング-エコノミスト】  
井上 弘基 氏



(一財)機械振興協会経済研究所  
首席研究員  
経済理論学会所属

平成 3 年入所以来、半導体産業分野の調査研究に従事。NEDO(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、海外貿易開発協会など外部委員を歴任。

ディープラーニングにより驚異的に発展している AI 開発の現状と未来予想図について産業研究に携わっているエコノミストの立場から語ります。AI 時代到来に際し、私たちはどのように‘学び直し’、そして共存していくべきなのでしょう。

講師

【モーターラーニング-セラピスト】  
結城 俊也 氏



医療福祉学博士  
専門理学療法士(神経)  
介護支援専門員  
日本認知症学会員

25 年間にわたり、理学療法士として地域の中核病院でリハビリテーション医療に従事。現在は健康作りのための講演活動、著述活動を行っている。著作に「認知症予防に おすすめ 図書館利用術」、「リアル脳卒中」など。

長年、身体の機能回復に携わってきた理学療法士の経験を通して、脳の病変により、身体がうまく動かない人に対する治療(運動学習)を通して、学ぶという営みの本質に迫ります。

講師

【アクティブラーニング-ティーチャー】  
山本 みづほ 氏



独立系司書教諭  
元教員  
長崎純心大学非常勤講師

長崎県の小、中学校にて 30 年以上にわたり教員を務める。現在、学校司書や司書教諭対象の講座や司書教諭課程のゲストスピーカーなどをつとめる。

教育の現場である中学校で長年教員をつとめた講師が、教育現場での経験を通して、学びに関する重要な要素について語ります。

講師

広瀬 容子 氏

株式会社 ラピッツワイド

外資系情報サービス会社の営業を経て 2015 年独立。  
目下図書館とツーリズムに関心があります。

日 時：2018 年 5 月 14 日 (月) 18 時 30 分より

会 場：機械振興会館 6 階 6-66 会議室 (港区芝公園 3-5-8)

定 員：100 名

参加費：無 料

申 込：氏名、所属、住所、電話番号、メールアドレスを下記までご連絡ください

✉ library@eri.jspmi.or.jp ☎ 03-3434-8254 (担当：結城)

BIC ライブラリの HP にも申し込み要領を掲載しております。

<http://www.jspmi.or.jp/biclibrary/> のイベントボタンをクリックしてください。